

旅行者血液透析(維持透析)に関する説明文書・同意書

患者 ID :

患者氏名 : 様

はじめに

この医療行為について説明を受け、わからないことがある場合は担当医、看護師、臨床工学技士にご質問ください。医療行為の内容や利益、副作用についてよく理解された上で、納得してお受けください。

1. 診断名

末期腎不全 もしくは 血液透析を必要とする腎障害

2. 病気の原因と病状・医療行為の必要性

末期腎不全になると、腎臓が本来行っている「老廃物や余分な水分の排出」「電解質(ナトリウムやカリウムなど)の調整」「血圧のコントロール」「赤血球を作るホルモンの分泌」などの機能が著しく低下します。その結果、体の中に毒素や水分がたまり、むくみ・だるさ・息切れ・吐き気・かゆみ・貧血などが出てくる場合があります。

腎臓の機能が正常の 15%以下にまで低下した状態が、一般的に「末期腎不全」と呼ばれ、この段階になると、腎臓の働きを補うために、透析療法(血液透析や腹膜透析)や腎臓移植といった腎代替治療が必要になります。

透析治療は基本的に永続的に行う必要があります、旅行者血液透析は透析を普段受けている方が、旅行先の透析施設で一時的な透析治療を継続するための仕組みです。事前に現在通院中の医療機関を行って許可を得たうえで、当院の透析の予約と紹介状の送付を依頼します。円滑に安全な透析を受けるためには体調管理、内服管理、食事や水分制限を旅行中も守ることが非常に大事になります。

3. 医療行為名称

血液透析(維持透析)

4. 医療行為の内容と有効性

腎臓の働きが大きく低下し、体に老廃物や余分な水分、毒素がたまってしまうと、命に関わる状態になります。「血液透析(けつえきとうせき)」は腎代替療法の 1 つの方法で、我が国では主たる方法になります。血液透析では、専用の機械を使って、体の中の血液を体の外に取り出し、ダイアライザーというフィルターで老廃物や余分な水分を取り除き、きれいになった血液を体に戻します。これを週に 3 回、1 回あたり 4 時間ほどかけて行います。

血液透析の有効性

血液透析を行うことで、以下のような効果があります：

- 血液中の毒素や老廃物を取り除き、**気分がよくなる**（だるさ・吐き気などの改善）
- 体の中の**余分な水分を取り除き、むくみや息苦しさが改善する**
- 血液中のバランス（電解質や酸塩基平衡）を整える
- 長期間にわたって、**生命を保ち、日常生活を続けることが可能になる**

ただし、腎臓の機能が元に戻るわけではないため、透析は基本的に**一生続ける治療**となります（腎移植を受ける場合を除く）。

5. 医療行為実施後の経過

- 定期的な透析と適切な管理を続けることで、**長期にわたり安定した生活**を送ることが可能です。
- 透析中のトラブル（血圧低下、けいれん、筋肉のつりなど）が出ることもありますが、スタッフが常にそばにいて対応しますので安心してください。
- **食事療法も非常に重要です。**塩分・水分制限等が不十分な場合には、単回の血液透析での水分管理や溶質除去が不十分になる可能性があります。

血液透析は、腎臓の働きを助け、命を支える大切な治療です。透析を受けながら仕事を続けている方、旅行を楽しんでいる方もたくさんいます。疑問や不安があるときは、遠慮なく医療スタッフにご相談ください。

6. 医療行為に伴う危険性、合併症・偶発症等の有無

血液透析は命を支える大切な治療ですが、体に負担がかかる治療であるため、導入時や治療中にさまざまな合併症・偶発症が起こることがあります。

合併症	発生率（およそ）	主な症状・説明
低血圧	約 20～30%	めまい、ふらつき、吐き気、冷や汗、失神など
筋けいれん	約 5～20%	足や手などに強い痛みを伴うけいれん。透析中の急激な水分除去が原因になることがあります。
頭痛	約 5～10%	透析中に起こることがあり、血圧変動や水分バランスの変化が原因です。
徐脈・不整脈	約 1～5%	動悸、胸の違和感、意識消失など。不整脈のリスクがある方は注意が必要です。
血管アクセス関連感染	約 1～10%	シャントやカテーテル部位の赤み、腫れ、発熱、膿など。放置すると敗血症になることもあります。
貧血の進行	多くの患者さんにみられる（個人差あり）。	倦怠感、息切れ、動悸。腎臓で作られるホルモン（エリスロポエチン）の不足による。
空気塞栓	極めてまれ（1万人に1人未満）	空気が血管に入ることによって起きる緊急事態。対策が徹底されており発生は非常にまれです。

万が一合併症や偶発症等が生じた場合の治療費用については、後日当院からご請求させていただきますのであらかじめご了解ください。

7. 代替可能な医療行為とその効果、危険性及び予後

血液透析のほかにも、末期腎不全に対する治療法として、

- 腹膜透析
- 腎移植
- 保存的腎臓療法（透析を行わず、症状を和らげながら生活する方法）

などの選択肢があります。これらの治療をご希望される場合は、定期通院されている病院の医師とご相談ください。

8. 当該医療行為を行わない場合に予想される予後

安全な透析を行うために

- 透析中は、患者さんの安全を守るために、スタッフの指示に従っていただくことが大切です。
- 意識がもうろうとしている方や、治療中に急に動いてしまう方には、チューブの外れや事故を防ぐために、事前にご同意をいただいた上で、腕や体を一時的に抑える処置をさせていただきますことがあります。

ご不明な点や不安なことがあれば、いつでも医師や看護師にご相談ください。患者さんとご家族にとって、納得のいく治療方針が選べるよう、しっかりとサポートいたします。

9. 当該医療行為を行うことに同意しない権利・同意を撤回する権利があること

以上の説明を受けられた後、この医療行為を希望されない場合には遠慮なく担当医にご相談ください。医療行為を受けるかどうかについて決めるのは患者さんご本人であり、選択はあなたの自由です。

この医療行為に同意した後に気持ちが変わった場合には、いつでも同意を撤回することができます。医療行為を途中で中止したくなった場合なども担当医にご相談ください。ただし、お支払いいただいた費用は返金することはできません。ご了承ください。

10. その他

新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染性疾患に対する対応について

- 旅行透析予定日より 10 日前以降にご本人または同居ご家族が新型コロナウイルスやインフルエンザに罹患した場合は連絡先までご連絡ください。

- 状況をお伺いさせていただいたうえで対応について判断させていただきます。場合によっては、お受入れできない場合もございます。
- 旅行透析当日に、発熱・咽頭痛・咳・嘔吐・下痢などの症状がある場合は、新型コロナウイルスおよびインフルエンザ検査で陰性を確認してからの透析実施となります。検査結果が出るまで約 1 時間以上お待ちいただきます。
- 原則、新型コロナウイルス・インフルエンザ検査で陽性となった場合は、透析をお受けできないことをご了解ください。なお、検査のみの場合も負担金が生じます。後日当院からご請求させていただきますのであらかじめご了解ください。

透析時間について

- 透析日に来院予定時刻より大幅に遅れて来院された場合、上記の発熱症状等の検査が必要になった場合、当院で治療されている他の透析患者さんの状況次第で予定の時間に透析を開始できなかった場合等では通常より短縮しての透析時間（4 時間→3 時間半、5 時間→4 時間半など）となる可能性があります。その場合、通常よりも老廃物除去や水分コントロールが不十分となる可能性があります。なるべく旅行中も食事・水分制限を遵守するよう心掛けていただけますようお願いします。

連絡事項

- 当日の持ち物

- 【保険証をお持ちの方】

- ・ 保険証
 - ・ 医療券 (お持ちの方)

- 【保険証をお持ちでない方】

- ・ 顔写真つき身分証明書 (パスポート等)

- 当日の行先

※患者登録や透析事前準備のため、**予約時間の 1 時間 15 分前**にお越しください。

① 初診受付 (以下の図参照ください。)



- ・ 初診受付にて「〇時より透析予約がある」とお声がけください。
(番号札を取る必要はありません)
- ・ 診療申込書をご記入いただきます。
- ・ 手続きが終了したら、透析室へ移動します。

② 透析室へ移動

・透析室への行き方





- ・透析室にて、同意書のサインや体温計測等準備を終えたら、透析開始です。

- 費用について

- ・ 金額は 55,000 (税込) /1 回となっております。
※保険証をお持ちの場合は保険適用可能です。
※透析以外の医療を実施した際は追加で医療費がかかります。その際は
医師等の指示に従ってください。
※透析記録 (日本語) については、無料でお渡ししますが、診断書形式
での文書作成は別途 11,000 円をいただきます。

- 注意点

- ・ 院内はマスクの着用が必要となっております。
- ・ 対面での通訳が困難な場合があります、その際は遠隔通訳となる事があります。

- 問い合わせ先

国際医療センター

お問合せページ : <https://forms.office.com/r/MAwKDYb8XG>